

県囲碁連盟が主催する大会での、手合い時計とパスに関する規定は次の通りです。

1. 手合い時計を使用する目的

手合い時計は、大会の進行をスムーズに行う事が目的であるので、これを勝負のために乱用してはならない。

2. 手合い時計を押す動作

時計は、打った手の指で静かに押す。(周りの対局者に対する騒音の迷惑。故障の原因)

3. 手合い時計を押させないことの禁止

着手したら、時計を押すこと(交互に時計を押すこと)を原則とする。
残り時間が少ない場合、相手に時計を押させないことを禁止する。

※残り時間が少ない場合、対局者Aが打った後に対局者Bがすぐ打つこと自体は問題ないが、Aに時計を押させないような動作はしてはならない。

※Aに時計を押させないことを繰り返すと、Aの時計のみが進んでBの時計は全く進まないことになり不合理である。

※持ち時間に余裕があるときには、対局者の一方又は双方が時計を押さずに着手している場合などは良くあることで、これは問題としない。

4. 持ち時間が残り少ない場合、石を盤から取り上げる時には時計を止めても構わない。

5. パスについて

有効な着手がある場合は基本的にパスはしない。最後にコウを譲るような場合のみ、パスができる。